

皆さん、入学おめでとう。小樽商科大学での勉学のうち、皆さんにとってまず最も目新しいのは、恐らく英語以外の外国語ではないかと思われま。ここではそのトップバッターとして、ドイツ語の紹介をいたします。

【日本とドイツ、そしてヨーロッパの中でドイツ】

ドイツ語はドイツ・オーストリア・スイス・リヒテンシュタイン、あるいはベルギーやルクセンブルクの一部で使用され、これを母語とする人口は約1億3000万人ですが、北欧・南欧・東欧・ロシアはドイツと緊密な経済・文化関係があるため、ヨーロッパでは英語に準じて広く通用する言語です。

さて日本に目を転じると、遠い国であるドイツの言葉が結構多く日常会話の中で使われているのです。日本語になったドイツ語、どんなものがあるでしょう？ アルバイト、これは身近なドイツ語のナンバーワンですね。他にもゼミナール、リュックサック、メルヘン、ワッペン、ワンダーフォーゲル、カルテ、ガーゼ、ゲレンデ、ヒュッテ、笑えるものではルンペンなんてものもあります。なぜ日本語にとってドイツ語はこれほど身近なのでしょう？

日本とドイツ。実はこの両国の関係は古く、明治時代初期から始まります。(江戸時代後期に日本で活躍したシーボルトは、政治的な理由から自らをオランダ人と称しておりましたが、実はドイツ人でしたので、その関係は更に古くなります。) 成立間もない明治政府は、近代国家形成をドイツ(正確にはベルリンを首都とするプロイセン王国)に学んだ点が多く、近代化に必要な不可欠な諸学問について、また哲学や芸術の分野においても、当時最先端を走っていたドイツから多くを輸入したのでした。つまり、世界を知り、世界を表現するためには、ドイツ語を少しでもかじっておく必要があったのです。こうして

日本の知識人の先達たちが、ドイツからたくさんの言葉を持ち帰ったわけです。

【ドイツ語学習のメリット】

では、現代のわれわれがこのドイツ語を学習する意味とは何なのでしょう。例えば以下のような3点が挙げられるでしょう。

1. 上に述べたように、ドイツは我が国の近代的学問の発展に多大な影響を与えた国です。戦後もまた、ドイツと日本の両国は、経済、科学、政治、文化の分野において互いに重要なパートナーであり、共通の価値観を分かち合ってきました。ドイツ語を学ぶということは、わが国の過去と未来について思考することの大事な一助となるでしょう。

2. ドイツも中核となっているEU(ヨーロッパ連合)の理解にも役立ちます。EUは現在27カ国の加盟国と約5億の人口を擁する大きな政治的・経済的単位であり、今日いかに問題を抱えているとは言え、EU抜きに世界の政治・経済は語れません。EUの中央銀行が置かれるドイツはリーマン・ショックからもすぐに立ち直り、ヨーロッパでは「ドイツの一人勝ち」と言われるほど強固な経済力を保っています。「世界で最も影響力のある女性」と言われたアンゲラ・メルケル首相の政権は、難民保護政策に関しても注目されました。今後も政治面・経済面でのドイツのリーダーシップに世界の目が注がれています。

3. ドイツは福島原発事故の後、早々と脱原発路線を決定した環境先進国でもあります。未来のエネルギー政策は言うに及ばず、社会福祉、余暇利用、女性の社会進出、地方自治などについてドイツから学ぶべき点は少なくありません。

【ドイツ語とはどんな言葉？】

学者たちが持ち帰った言葉、ということでドイツ語には堅苦しいイメージありますが、そもそもドイツ

ツ語と英語は同じ言語から枝分かれした兄弟関係にあるので、英語を学んだ皆さんにとってドイツ語の文法を理解することはさして難しくはないはずです。発音は基本的にローマ字読みに近く、英語とよく似た単語でも、発音は英語よりずっと簡単です。例を挙げてみましょう。

- (ド) Sie hat ein Buch. (ズィー ハット アイン ブゥッ)
= (英) She has a book.
(ド) Das ist eine gute Idee. (ダス イスト アイェー ゲーテ イデー)
= (英) That is a good idea.
(ド) Es ist kalt hier. (イス イスト カルト ヒア)
= (英) It is cold here.

どうです？簡単そうでしょうか？勿論、実際の文章はこれほど単純なものばかりではなく、色々な語尾変化もありますが、数多くの練習をゆっくりとこなしていけば、恐れるには足りません。

【交換留学について】

夜間主のドイツ語の授業は週2回、1年間のみですが、希望者は昼間コースのドイツ語関連授業を履修することも可能です。それについては本冊子6頁を参考にしてください。

また本学では、協定校における半年または1年の交換留学制度が整備されています（バイロイト大学・ウィーン経済大学・ベルリン経済法律大学）。参加者は国際的な環境の中でコミュニケーション能力を磨くことができます。夜間主の学生も意欲的に挑戦してみてください。

さて皆さん、コロナ禍が収まり、ドイツ語も履修したなら、一度ドイツを訪れてみてください。ドイツ全土に点在する美しい古都、落ち着いた大学町、古城をつなぐ街道とライン河、現代都市工学の粋を結集して変貌を遂げた首都ベルリンなど、見るべきものがたくさんあります。また4回のワールドカップ優勝を誇るドイツはサッカー大国。日本人選手が

多数活躍するプロサッカーリーグ「ブンデスリーガ」などを通じて、ドイツは多彩な顔を見せてくれます。旅行でも留学でもドイツ語を使って外の世界に出てみましょう。ドイツ語を履修した皆さんに、ヨーロッパの門は大きく開かれることでしょう。

